



女性研究者裾野拡大のための教員研修

「児童・生徒の理科への 学習意欲を高める指導のあり方」

日時：平成23年1月12日(水) 13時～16時15分

会場：北桐ホール 岩手大学総合教育研究棟(教育系)2階 (地図裏面)

対象：小学校、中学校、高校の理科担当教員の他、大学教職員、学生、および岩手大学が取り組む男女共同参画事業に関心を持ってくださる方の参加をお待ちしております。

参加無料

<プログラム>

主催者挨拶 岩手大学男女共同参画推進室室長
岩手大学副学長(男女共同参画担当) 菅原悦子

講演1 「女子の理科離れの実態と要因、そしてその改善のための理科指導」
上越教育大学講師 稲田結美先生

講演2 「実験を楽しく行うコツ - たとえ教科書と違った結果が出たとしても -」
岩手大学教員養成機構教授 田中吉兵衛先生

講演3 「お茶の水女子大学附属高校における理科教育の特徴」
お茶の水女子大学附属高校副校長 石井朋子先生

パネルディスカッション「女子小中高生の理科への学習意欲を高める指導とは？」
パネリスト：稲田結美先生、田中吉兵衛先生、石井朋子先生
コーディネーター：北上市立和賀東中学校長 川村庸子先生



*研修会終了後、同棟3階
第2会議室において1時間半程度の
交流会を予定しております。



主催：岩手大学男女共同参画推進室
後援：岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会

<お問い合わせ先>

国立大学法人岩手大学
男女共同参画推進室
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8 担当：堀 久美
電話：019-621-6998, 6038 メール：equality@iwate-u.ac.jp
URL：http://www.iwate-u.ac.jp/gender/

< 講師・コーディネーターのご略歴等 >

稲田 結美先生

1998年 日本女子大学理学部物質生物科学科卒業
2000年 筑波大学大学院修士課程教育研究科教科教育専攻修了
2000年 東京都荒川区立第九中学校教諭
2005年 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科学校教育学専攻入学
2008年 独立行政法人 日本学術振興会特別研究員
2010年 上越教育大学大学院学校教育研究科講師 現在に至る
【現在の研究テーマ】女子の理科学習の促進を指向する理科教育のあり方と教材に関する研究。

◎教育分野における男女共同参画についてひとこと
性別による固定観念だけで、学習者の興味・関心が左右されることなく、自身の将来を自由に選択できる機会を提供できる学校教育であってほしいと思います。

田中 吉兵衛先生

1970年 岩手大学教育学部甲一類理科卒業
1971年 岩手町立一方井中学校教諭、76年 岩手大学教育学部附属中学校教諭
1990年 岩手県教育委員会指導主事、96年 岩手大学教育学部附属中学校副校長
1998年 花巻市立湯本中学校校長、01年 岩手県立総合教育センター次長
2003年 盛岡市立厨川中学校校長
2004年 第51回全国中学校理科教育研究会岩手大会運営委員長
07年 岩手県中学校長会会長 岩手県科学教育連合会会長 東北地区理科教育研究会会長
2008年 岩手大学教員養成機構教授 現在に至る

◎教育分野における男女共同参画についてひとこと
教職は、「同一労働」「同一賃金」「産前・産後休暇」「育児休暇」等があり、男女共同参画が最も可能な職業の一つ。共同参画を実現するには、(暗黙に了解されている)「性差による役割分担」という「学校文化」を解体していく「覚悟」が必要。「覚悟」は、教養(特に科学的教養)の有無による。

石井 朋子先生

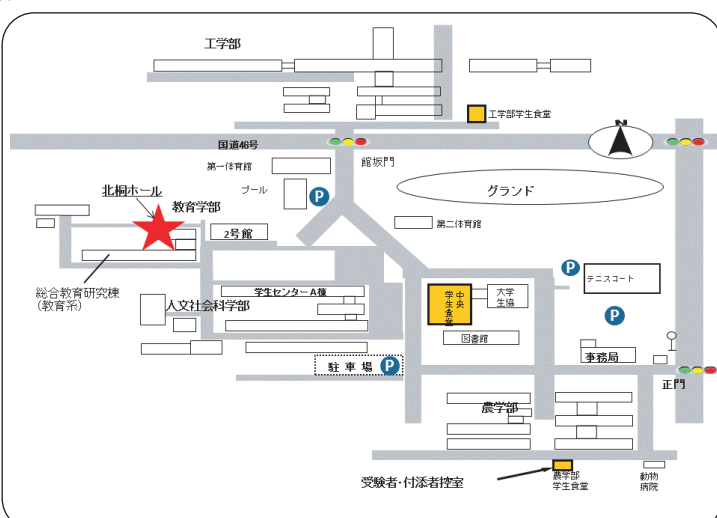
1976年 お茶の水女子大学理学部化学科卒業
1978年 お茶の水女子大学大学院理学研究科化学専攻修了
1978年 お茶の水女子大学文教育学部附属高等学校教諭
1981年 お茶の水女子大学附属高等学校に改称
2007年 同校副校長 現在に至る

◎教育分野における男女共同参画についてひとこと
教員の数ということについては教育分野はもともと男女共同参画が進んでいるところであるといえますが、一方で、ジェンダーバイアスは学校で作られているともいわれています。事改めて「男女共同参画」などといわなくても、真の共同参画が自然な形で実現するまで、まだしばらく女子校の存在意義もあるのではないかと考え、そこできるところに努力したいと思っています。

川村 庸子先生

1974年 山形大学教育学部中学校教員養成課程(理科)卒業
1974年 釜石市立釜石第一中学校教諭
1985年 兵庫教育大学大学院修士課程学校教育学部修了
1994年 岩手県立総合教育センター研修主事(5年)
2003年 久慈市立久慈湊小学校校長
2006年 西和賀町立湯田中学校校長
2009年 北上市立和賀東中学校校長 現在に至る
著書「不思議の国の全校朝会」新風舎2006

◎教育分野における男女共同参画についてひとこと
北上市の女性理科教師の割合は他地域に比較的多いと思われる。どの女性理科教師も学校の中核として存在感のある仕事ぶりであるから教師としての経験を通してたくましくなっていく。理科は興味関心と探究心さえあれば、男女関係なく好きになれる教科である。「女性は生まれつき科学に向いていない」というサマーズ発言は記憶に新しいが、向き不向きではなく、あくまでも環境と教育の影響が大きいと思われる。さらに女性の理科教師が増え、女子生徒が憧れる教師に育ってほしいと願う。



★北桐ホール
岩手大学総合教育研究棟(教育系)2階